

母性看護学実習（新生児に必要な援助を、人形を用いて演習しました。）第二看護科3年 本科実習室
新生児は生きていくためのすべてを、母親と看護師にゆだねます。そこで、赤ちゃんのモデル人形を用いて抱き方や沐浴、授乳などをくり返し練習し、援助に必要な知識・技術を確実に身につけていきます。また、育児用ミルクづくりを哺乳瓶を用いて清潔・正確に調乳を行いました。その他、沐浴では赤ちゃんの頭をしっかりと支えて、お湯が目に入らないように洗います。沐浴は赤ちゃんを入浴させて清潔を保つだけでなく、全身の状態を観察する目的があり、手順をしっかりと習得しておく必要があります。実際の赤ちゃんをイメージしながら語りかけることで母性が養われ、一人ひとりが自然と笑顔になりました。他に全裸にした児を仰向けにして身長計の台板上にねかせて固定板につけ、耳眼面（耳珠点と眼窩点とがつくる平面）が台板と垂直になるように頭部を保持し、乳児の両膝をかるく台板におさえて下肢を伸展させもう一方の手で移動板をすべらせて乳児の足のうらにあて、足のうらが台板と垂直な平面をなすようにして1mm単位まで計測します。



演習中に「救急車」が入ってきました。